

グローバルプロダクトビジネス -Global Product Business-

金融・流通・公共分野で培ったノウハウをグローバルに展開するとともに、サプライチェーン全体を通して、環境に配慮した取り組みを行っています。

環境配慮製品の開発・提供

当社グループでは、製品の安全性や、製品が環境へ及ぼす影響に対する世の中の関心がますます高まる中、サプライチェーン全体を通じて、有害物質の含有を制限するRoHS（※1）やREACH（※2）をはじめとする製品含有規制への適合はもとより、エネルギー効率および資源効率に優れた環境配慮製品を開発し、国内外のお客様へ提供することで、グローバルな環境負荷の低減に貢献しています。

※1：電気・電子機器における特定有害物質の使用制限

※2：化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則

エネルギー／資源効率の追求

「富士通グループ環境行動計画」で提示された製品の環境性能（エネルギー／資源効率）に関する指標を受け、同指標を確実に達成できるよう、DR（Design Review）の初期段階から使用する部材や構造などを入念に検討して、設計開発を進めています。

なお、「第8期環境行動計画」（2016～2018年度）においては、4製品がエネルギー効率トップレベル、5製品が資源効率向上を実現し、すべての指標を達成することができました。

製品含有規制化学物質への対応

当社グループでは、製品含有規制化学物質への対応を確実にするため、製品を構成する部品の含有化学物質を一元管理可能な独自のWeb管理システム（名称：Earth）を構築し、設計開発、受入検査、品質保証、購買部門などが利用しています。具体的には、利用者が構成部品を選定する際に当システムを利用することで、希望する部品がRoHS適合品であるか確認してから発注することができます。また、chemSHERPA（※3）と部品とを紐づけし、SVHC：Substances of Very High Concern（※4）含有の有無も確認することが可能です。

なお、2019年7月に施行された改正RoHSにおいて規制物質として追加されたフタル酸エステル類4種については、欧州市場向け製品の施行前の適合を完了しています。

※3：製品含有化学物質情報伝達の共通スキーム

※4：REACHにおいて認可対象物質の候補となる「高懸念物質」

「第8期環境行動計画」で開発された当社グループ製品（事例）

